

金岡新聞

3月号

日本ロマン飛行 ③1

— フランス風洋館へ萬翠荘へ愛媛 —

萬翠荘は、大正十一年、旧松山藩主の子孫にあたる久松定謨(ひさまつさだこと)伯爵が、別邸として建設したものである。陸軍駐在武官としてフランス生活が長かった定謨伯爵好みの、純フランス風の建物は、当時最高の社交の場として各界名士が集まり、皇族方がご来県の際は、必ず立ち寄られたところである。また、裕仁親王(後の昭和天皇)の松山訪問に合わせ、完成を急がせたとも伝えられている。萬翠荘は戦禍を免れ、建築当時の様子そのまま残す貴重な建築物として、



細部にまで意匠の施された階段。大型のステンドグラスと深紅のカーペットとの組み合わせは、シネマのワンシーンのよう

3月生まれの有名人

- 3/3 川島 海荷 22歳
- 3/4 浅野 温子 55歳
- 3/8 高木 ブー 83歳
- 3/10 藤井 隆 44歳
- 3/11 三木谷浩史 51歳
- 3/14 ほしのあき 38歳
- 3/15 武 豊 47歳
- 3/18 豊川 悦司 54歳
- 3/20 竹内まりや 61歳
- 3/26 野村沙知代 84歳
- 3/28 神田 うの 41歳
- 3/31 宮迫 博之 46歳

昭和六〇年に愛媛県指定有形文化財となり、その後、平成二三年に萬翠荘本館と管理人舎の二棟が国重要文化財に指定されている。

建築その物も美術品だが現在には、絵画、掛け軸、伝統芸術品、各種イベント、個展を随時行っている。中でも、五月から開催されるバラ展は有名で、多くの人で賑わう。毎回様々なテーマに沿ったバラが集められ、苗の販売や、バラ作りの相談コーナーなど、バラに関する情報が満載。さらに今からは桜と洋館の対比も美しい。



山佐産業(株)
瀬戸内プレカット
金岡事業所

岡山市東区金岡東町3-5-70

TEL 086-948-2053

FAX 086-948-0108

春を彩る『チューリップ』

日本の春を彩る代表的な花のひとつであると同時に、世界各国でも同様に愛され、花壇、鉢植え、切り花と大量に使われている。日本にこの花が由来したのは江戸時代、本格的な栽培が始まったのは明治以降とされ、当時の呼び名は「薔金香」(ウツコンコウ)。花壇栽培する場合は、配色や各品種による草丈のバランスを考慮して植えることがポイントになる。また、鉢栽培を楽しむなら、矮性種が向く。栽培する場所は、排水さえよければ別に土は選ばないが、冬季から生育期間の春にかけては絶対に土を乾燥させないよう心がけたい。球根栽培では、新潟県、富山県、京都府、島根県で行われ、3月から4月にかけての開花時期には美しい花を楽しむことができる。

世羅高原農場

(広島県・世羅町)

広島県の世羅町別迫にある観光農園で中国、四国地方では最大級のチューリップ畑。花畑は広さ約6ヘクタールに300種70万本のチューリップが咲き誇る。チューリップは色や種類ごとに帯状に植えられ、丘陵の段差を利用しての絶妙な配色が楽しめる。八重咲きで淡いピンクのホーランドプリンセスや枝咲きで明るい赤のオレンジブーケなど、白色の5品種を集めた「ホワイトガーデン」もある。また夏には100万本のヒマワリが咲き、秋には2万5千株のダリア園を開園。収穫祭ではジャンボサイズの大根がとれるなど、地元では花の名所として多くの人たちに親しまれている。



チューリップを国花としている国は、トルコ、オランダ、アフガニスタン(赤いチューリップ)、イラン、カザフスタンなど多くある。

● おしゃれ～な棚
● 絶賛作成中!!!
● 在庫品の2×4
● に、リボス塗装
● を施し、今話題
● のディアウォール
● にて柱の設置
● が、完了したと
● ころです。
● 随時工程を公開
● していきますの
● で、お見逃しな
● く!!!

